



2020年1月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2019年9月12日

上場会社名 株式会社 三井ハイテック 上場取引所 東 福
 コード番号 6966 URL <https://www.mitsui-high-tec.com/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 三井 康誠
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 三井 宏蔵 TEL 093-614-1111
 四半期報告書提出予定日 2019年9月12日 配当支払開始予定日 2019年10月17日
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年1月期第2四半期の連結業績（2019年2月1日～2019年7月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年1月期第2四半期	42,285	2.1	△60	—	△6	—	△232	—
2019年1月期第2四半期	41,426	9.1	691	△45.3	978	△19.1	808	△50.8

(注) 包括利益 2020年1月期第2四半期 △552百万円 (—%) 2019年1月期第2四半期 475百万円 (△57.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年1月期第2四半期	△6.23	—
2019年1月期第2四半期	21.22	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年1月期第2四半期	90,682	46,842	51.4
2019年1月期	85,000	48,333	56.6

(参考) 自己資本 2020年1月期第2四半期 46,627百万円 2019年1月期 48,131百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年1月期	—	4.00	—	2.00	6.00
2020年1月期	—	2.00	—	—	—
2020年1月期（予想）	—	—	—	4.00	6.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2020年1月期の連結業績予想（2019年2月1日～2020年1月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	86,000	4.9	300	△40.0	500	△38.9	100	△67.0	2.71

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年1月期2Q	39,466,865株	2019年1月期	39,466,865株
② 期末自己株式数	2020年1月期2Q	2,561,122株	2019年1月期	1,802,530株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年1月期2Q	37,301,576株	2019年1月期2Q	38,111,203株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の業績予想は当社が現時点において入手可能な情報に基づき作成したものであり、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績は、さまざまな要素により異なる結果となる可能性があることをご承知おきください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(会計方針の変更)	7
(追加情報)	7
(セグメント情報)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(重要な後発事象)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、企業収益及び雇用・所得環境の改善が続くなか、個人消費についても持ち直しがみられ、緩やかな景気回復が続きました。

米国経済は良好な雇用情勢を背景に個人消費が堅調に推移し、経済成長が持続しております。しかし、米中貿易摩擦の影響などにより中国の景気が減速していることに起因して、世界経済は先行き不透明感が増しております。

そのなかで、当社グループの主たる供給先である半導体業界においては、スマートフォン等の携帯用端末向け、民生及び車載向け半導体の需要の回復は足踏み状態が続いております。一方、自動車業界においては、ハイブリッド車、電気自動車の販売が堅調に推移しました。

このような事業環境のもと、当社グループは、省資源・省エネルギーに貢献する製品・部品の受注拡大、グローバルな新規顧客の開拓及び全グループを挙げて生産性向上と原価低減に取り組みました。

また、将来の市場拡大に伴う受注拡大を見据え、成長分野への積極的な投資を実施しました。

その結果、半導体業界の市況低迷や世界経済の不透明な先行きにより、電子部品事業と工作機械事業の売上は減収となりましたが、その他の事業においては増収となり、当第2四半期連結累計期間の売上高は422億8千5百万円（前年同期比2.1%増）となりました。一方、利益面では電子部品事業の売上が大幅な減収となったことが影響し、営業損失は6千万円（前年同期は営業利益6億9千1百万円）、経常損失は6百万円（前年同期は経常利益9億7千8百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失は2億3千2百万円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純利益8億8百万円）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

(金型)

金型事業については、車載及び家電用のモーター金型の受注が堅調に推移するとともに、生産能力の増強を図った結果、売上高は42億9千万円（前年同期比13.5%増）、営業利益は5億3千3百万円（前年同期比15.4%増）となりました。

(電子部品)

電子部品事業については、原価低減、生産性向上に取り組んでまいりましたが、半導体業界の市況低迷による受注減少により大幅な減収となりました。その結果、売上高は177億9百万円（前年同期比20.4%減）、営業損失は9億2千2百万円（前年同期は営業利益1億2千万円）となりました。

(電機部品)

電機部品事業については、試作から量産までの一貫体制を活かし、車載及び産業・家電用のモーターコアの拡販活動と生産性向上に取り組みました。加えて、国内では岐阜事業所が2019年2月に量産を開始したことなどが寄与し、売上高は213億7千9百万円（前年同期比30.2%増）となり、営業利益は15億9千9百万円（前年同期比13.8%増）となりました。

(工作機械)

工作機械事業については、電子部品向け市場や自動車向け市場を中心に拡販活動を継続しましたが、市況低迷による設備投資の先送りなどにより、売上高は8億7千9百万円（前年同期比5.1%減）、営業利益は6千9百万円（前年同期比19.5%減）となりました。

なお、上記セグメント売上高は、セグメント間の内部売上高又は振替高19億7千1百万円を含めて表示しております。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年1月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年7月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	16,343	20,140
受取手形及び売掛金	10,788	11,474
電子記録債権	2,032	2,261
有価証券	3,400	4,600
商品及び製品	3,306	3,365
仕掛品	2,111	2,133
原材料及び貯蔵品	1,868	1,889
その他	2,084	1,703
貸倒引当金	△11	△11
流動資産合計	41,924	47,556
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	34,888	34,821
減価償却累計額	△22,770	△23,058
建物及び構築物（純額）	12,118	11,763
機械装置及び運搬具	56,166	57,219
減価償却累計額	△39,791	△41,379
機械装置及び運搬具（純額）	16,374	15,840
工具、器具及び備品	21,561	22,500
減価償却累計額	△19,202	△19,918
工具、器具及び備品（純額）	2,358	2,581
土地	7,705	7,705
使用権資産	—	1,399
減価償却累計額	—	△782
使用権資産（純額）	—	616
建設仮勘定	1,864	2,473
有形固定資産合計	40,421	40,981
無形固定資産		
投資その他の資産	378	370
投資有価証券	837	776
繰延税金資産	429	421
退職給付に係る資産	230	268
その他	779	306
投資その他の資産合計	2,275	1,772
固定資産合計	43,076	43,125
資産合計	85,000	90,682

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2019年1月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年7月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	5,088	5,523
1年内返済予定の長期借入金	1,679	1,779
未払法人税等	255	297
その他	3,111	3,563
流動負債合計	10,134	11,164
固定負債		
長期借入金	26,230	32,290
役員退職慰労引当金	182	173
事業整理損失引当金	47	—
退職給付に係る負債	72	71
リース債務	—	139
固定負債合計	26,532	32,675
負債合計	36,667	43,839
純資産の部		
株主資本		
資本金	16,403	16,403
資本剰余金	14,661	14,661
利益剰余金	19,607	19,299
自己株式	△1,556	△2,414
株主資本合計	49,115	47,950
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	268	225
為替換算調整勘定	△1,175	△1,472
退職給付に係る調整累計額	△77	△76
その他の包括利益累計額合計	△984	△1,323
非支配株主持分	201	214
純資産合計	48,333	46,842
負債純資産合計	85,000	90,682

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年2月1日 至 2018年7月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年2月1日 至 2019年7月31日)
売上高	41,426	42,285
売上原価	36,237	37,871
売上総利益	5,189	4,414
販売費及び一般管理費	4,498	4,474
営業利益又は営業損失(△)	691	△60
営業外収益		
受取利息	41	52
為替差益	229	—
不動産賃貸収入	17	52
その他	57	60
営業外収益合計	345	165
営業外費用		
支払利息	23	43
為替差損	—	31
固定資産除売却損	18	14
その他	17	23
営業外費用合計	59	112
経常利益又は経常損失(△)	978	△6
特別利益		
補助金収入	174	19
特別利益合計	174	19
税金等調整前四半期純利益	1,152	12
法人税等	329	226
四半期純利益又は四半期純損失(△)	823	△213
非支配株主に帰属する四半期純利益	14	18
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	808	△232

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年2月1日 至 2018年7月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年2月1日 至 2019年7月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	823	△213
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△33	△42
為替換算調整勘定	△325	△296
退職給付に係る調整額	12	0
その他の包括利益合計	△347	△339
四半期包括利益	475	△552
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	460	△571
非支配株主に係る四半期包括利益	14	18

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

国際財務報告基準(IFRS)を適用している在外連結子会社において、第1四半期連結会計期間の期首からIFRS第16号(リース)を適用しております。IFRS第16号の適用に当たっては、経過措置として認められている、本基準の適用による累積的影響を適用開始日に認識する方法を採用しております。

これに伴い、過去にIAS第17号を適用してオペレーティング・リースに分類した借手としてのリースについては、適用開始日に使用権資産及びリース債務を認識するとともに、投資その他の資産のその他に含めていた一部の資産については使用権資産への振替を行っております。

その結果、当該会計基準の適用に伴い、当第2四半期連結会計期間の四半期連結貸借対照表において固定資産の使用権資産が616百万円、流動負債のその他が23百万円、固定負債のリース債務が139百万円それぞれ増加し、投資その他の資産のその他が454百万円減少しております。

なお、当第2四半期連結累計期間の損益に及ぼす影響は軽微であります。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 2018年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(表示方法の変更)

(四半期連結損益計算書)

前第2四半期連結累計期間まで営業外収益の「その他」に含めて表示しておりました「不動産賃貸収入」は、当第2四半期連結累計期間において営業外収益の100分の20を超えることとなったため、当第2四半期連結累計期間から区分掲記しております。この表示方法の変更を反映させるため、前第2四半期連結累計期間の財務諸表の組替えを行っております。

この結果、前第2四半期連結累計期間の連結損益計算書において、「営業外収益」の「その他」に表示しておりました74百万円は、「不動産賃貸収入」17百万円、「その他」57百万円として組替えております。

(セグメント情報)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自2018年2月1日至2018年7月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	金型	電子部品	電機部品	工作機械	合計	調整額 (注)1	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注)2
売上高							
外部顧客への売上高	1,913	22,244	16,415	852	41,426	—	41,426
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,865	0	—	73	1,939	(1,939)	—
計	3,779	22,244	16,415	925	43,365	(1,939)	41,426
セグメント利益	462	120	1,405	85	2,073	(1,381)	691

(注)1. セグメント利益の調整額△1,381百万円は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第2四半期連結累計期間(自2019年2月1日至2019年7月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	金型	電子部品	電機部品	工作機械	合計	調整額 (注)1	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注)2
売上高							
外部顧客への売上高	2,435	17,707	21,379	763	42,285	—	42,285
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,854	1	—	116	1,971	(1,971)	—
計	4,290	17,709	21,379	879	44,257	(1,971)	42,285
セグメント利益又は損失(△)	533	△922	1,599	69	1,278	(1,339)	△60

(注)1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△1,339百万円は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。